

ご挨拶

「特別号 竹内宏寄稿集」

私ども価値総研を長きに亘りご指導いただきました竹内宏特別顧問が、去る4月30日に逝去されました。お世話になりました当社の社員および関係者一同を代表いたしまして、謹んでご冥福をお祈りいたします。

故竹内宏様には、日本長期信用銀行の専務取締役・調査部長や長銀総合研究所理事長などを歴任されました後の、平成14（2002）年4月に、当社特別顧問にご就任いただきました。当社が平成11年1月に（株）長銀総研コンサルティングから（株）価値総合研究所へ社名変更し、同13年12月に経営改組により役職員所有の独立コンサルタント会社に移行いたしました直後にあたります。

その後は、社内で毎月1回勉強会を開催され、若手研究員の育成・指導にご尽力いただきましたことを始め、機関誌 **Best Value** にコラム「新・路地裏の経済学」を寄稿いただくなど、当社が業務を継続する上での基礎を築いていただくとともに、対外的な信用力向上に多大なるご貢献をいただきました。その勉強会の数は、平成26年2月までの間、合計105回を数えたとお聞きしております。また **Best Value** へは、中国経済や欧米の戦略を歴史的な観点から俯瞰・分析されるなどの多彩な内容で、平成27（2015）年春まで、29回に亘り掲載いただきました。

当社にとって2000年代は厳しい時代でありましたが、黒川俊夫元社長の指導のもと、官公庁への政策提言や企業への経営コンサルティング業務を中心としつつ、お客様に支えられながら乗り越えることができました。これも、竹内様が当社の精神的支柱ともなっていたからこそと、あらためまして心より御礼申し上げます。

当社は、平成21（2009）年9月に（株）日本政策投資銀行およびその関係会社（株）日本経済研究所と業務提携、25年3月には政策投資銀行からの資本参加を得まして、同銀行グループの調査・コンサルティング会社として新たなスタートを切りました。このご縁を結んでいただきましたのも、竹内様の長年かつ多方面に亘るご活躍に基づく人脈、とりわけ日本政策投資銀行の前身、旧日本開発銀行調査部の方々との信頼関係が大きかった、とお聞きしております。そうした関係から、平成19年、財団組織でありました日本経済研究所の当時の大川澄人理事長が竹内様から会社社長の皆様との勉強会に声をかけていただき、活動を続けますうちに相互理解が進み、将来に向けた意思の共有につながったのだと思います。

現在では、日本政策投資銀行グループ各社との連携も進み、引き続き中央官庁や地方自治体などから多くのお仕事を頂戴しております。今後とも竹内様のお言葉を胸に刻み、未来に向け成長を続けられますよう、役職員一同精進を続けてまいります。

本号は、竹内様からの29回のご寄稿文を再整理してお届けするものです。皆様が竹内様のご功績とお人柄を偲ぶよすがとなりましたら幸いです。

代表取締役社長 井上 毅